

稲穂フェスティバル



発行 千歳市町内会連合会 千歳市東豊町1丁目11番地 千歳市社会福祉協議会内
印刷 (株)フロンティアエージェンシー 千歳市信濃3丁目32-7 TEL.0123-26-5191

市町連だより

第22号
平成19年12月15日発行

千歳市の人口と世帯数
人口/92,901人
世帯数/43,223世帯
(平成19年12月1日現在)

平成19年度 市関係者と市町連理事との懇談会開催

去る11月9日、ホテル日航千歳を会場に平成19年度市関係者と市町連理事との懇談会を実施いたしました。今年度は懇談会の第一部で、山口市長はじめ各部長との懇談が実現し、重点活動や日頃から抱えている悩みにも触れながら、市町連活動の一端をご紹介させていただきました。

また、先般町内会より提出されました行政への要望事項を取りまとめ、8月31日付で千歳市へ要望書を提出、当日は担当部長より項目ごとに説明がありました。以下、市町連要望7項目については次のとおりです。



▲懇談会第1部の様子

一 市町連に対する役割認識と補助金の増額

市民活動の中核を担う市町連の役割を再認識いただき、活動を支える補助金の増額について検討を。

二 町内会館(新築)・同敷地取得に対する補助金制度の拡大

工事基準額、補助率、補助限度額は長い間据え置かれ、たまたまであり、実態に添った見直し検討を。

三 災害等の危機を予測し、災害弱者情報の早急な公開

町内会の自主防災会による災害弱者救援・救護活動のため災害弱者対象者名簿(更新名簿含む)の公開検討を。

四 集団資源回収システム「千歳方式」の早急な改革

集団資源回収の改革・継続を図り、資源回収の原点の町内会が、将来に亘って継続して協力可能な「新千歳方式」の構築を。

五 町内会加入促進のため、民間アパート所有オーナーへの協力

町内会加入促進のため、民間アパート建築確認の際に、各々のオーナーに対して町内会入会促進について特段の協力・要請を。

六 市からの町内回覧文書の改善

市からの町内回覧文書については、緊急を要するもの以外は毎月1日と15日の数日前に各町内会に届くよう配布をお願いしていますが、実態は市内においてチェック・統制がされないまま頻りに各課から出され、町内会からの苦情が絶えません。回覧文書の取扱いについて、市と市町連(町内会)双方の意に添う早期改善を。

七 長都駅前地域警察官派出所の新設

世帯増加に伴う通勤・通学者等のJR長都駅の利用者増加及び新興住宅街の空き巣や車上荒らし、痴漢等の犯罪が多発し、住民の不安が増幅する要因を抱えていることから、長都駅前地区に「警察官派出所」の新設実現を。



▲懇談会第2部の様子

なお、行政からの文書回答につきましては、12月中旬頃に各町内会長へ送付する予定にしております。

この度の懇談会では、公務ご多用にも係わらず山口市長はじめ部長全員に出席いただき、感謝の気持ちとともに市民協働の一翼を担うべく本会への大きな期待と受け止め責任の重さを痛感したところです。

今後は、行政と市町連とのより良い協働関係を構築していくために、これまで以上に日頃から行政との対話に心がけ、市町連としての役割を果たしていきたいものと考えております。

平成19年度 道央ブロック

町内会活動研究大会、千歳市に於いて開催!

～安心・安全なまちづくりをめざして～



大会主催あいさつ
道町連会長 佐藤浩氣



「安心・安全な地域づくり、まちづくり」を
テーマに講演する
NPO法人シーズネット代表 岩見太市 氏



来賓あいさつ
千歳市長 山口幸太郎氏



大会主管あいさつ
市町連会長 富樫 保



開会式の様子

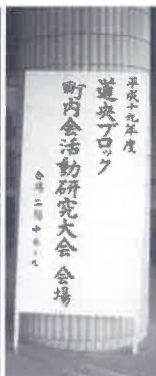


平成19年度道央ブロック町内会活動研究大会は、去る9月19日・20日の2日間に行われ、千歳市民文化センターを会場に、10市5町より約160名の参加を得て開催されました。

研究大会のテーマは「安心・安全なまちづくりをめざして」、1日目は「豊かな暮らしと安心して住み続けられるまちづくりのために」と題して、NPO法人シーズネット代表の岩見太市氏を講師に講演がありました。講演の中で、住民同士が結びついている「まち」を紹介しながら、公助主体から自助・共助主体のまちづくりへ向けた提言をいただきました。その後、「福祉」環境「防災」のテーマ別に分科会があり、千歳の実践紹介など活発な協議が行われました。

2日目は分科会報告、大会終了後には施設見学を実施いたしました。

9年ぶりに千歳市を会場に開催された本大会は、平日開催にもかかわらず、開催地千歳の町内会関係者約100名が参加し、熱心な協議・提言などをいただき、成功裡に閉会いたしました。



分科会報告

【第1分科会】

テーマ「見守り・たすけ合い活動について考える」

●サブテーマ

①子どもの見守り活動をすすめる上での問題点

②福祉マップ作成の問題点

市内寿町内会・あけぼの団地町内会をはじめ、札幌市手稲星置町内会・倶知安町連合会など参加9市町それぞれの地域の事例を発表いただきながら協議しました。
・登下校時の子どもの見守り活動は今ではその趣旨が充分理解され地域にあつたやり方で実践されている。



第3分科会



第1分科会



第1分科会報告



第1分科会

分科会



第2分科会報告



第2分科会



第3分科会報告



第2分科会

・防犯関係では不審者への抑止力として青パトロールの実施、ステッカーや腕章による広報活動が増えている。

・福祉マップの作成では個人情報開示に特に気配りを要することが重要です。また、マップ作りが出来なくても、町内の協力を得て把握をしているところもある事から、やり方次第なのかも知れません。

【第2分科会】

テーマ「ゴミ減量・リサイクル活動について考える」

●サブテーマ

「もったいないの精神(こころ)」を受け継ぎ、伝えよう

【第1の柱】3R「もったいない」
【第2の柱】3Rの中で一番大切なリ

デュース(発生抑制)「もったいない」の実践

【第3の柱】私たちは「もったいないの精神(こころ)」を受け継ぎ、小さなことから実践し、そして次世代に伝えよう。

私たちは今、地球のために何ができるのか。それは、①私たちの体のどこかに染み込んでいる「もったいない」を思い返す、②私たちの生活を見渡し、小さな出来ることから「もったいない」を実践する、③私たちが日本人の美德「もったいないの精神(こころ)」を次世代に引き継ぐ、ことではないでしょうか。

【第3分科会】

テーマ「住民主体の地域づくりについて考える」

●サブテーマ

自主防災「災害意識を高めるために」
参加された皆様は、防災組織を設立して十数年の方、数年の方、未組織ではあるが自主防災への強い関心を持たれている方々で、テーマに迫る事例紹介と課題解決に向けた熱心な意見交換がなされました。

防災意識を高め、自主防災活動を展開するためには、日頃から町内でのコミュニケーションと会員との関わりを深め、情報の提供をおこなうことにより組織は活性化し、一朝有事の際はその機能が果たされると思われます。

交流会



富丘3丁目北町内会

創立20周年

会長 柿原 堅一郎
式典 平成19年10月6日

創立20周年を迎えて

1907年、千歳村北信濃の大地に木滑良一様の祖父母ご一家が開拓の鋤を下ろしたのが富丘地区の歴史のはじまりでした。

昭和40年「富丘団地町内会」設立。昭和62年6町内会に分割され、富丘3丁目北町内会が発足。爾来、幾多の変遷を経て、本年度20周年の意義ある節目を迎え、去る10月6日当町内会館で記念式典、祝賀会を開催しました。当日は多数のご来賓をお招きし、20周年の節目を祝うことができました。

当町内会は、260世帯。平成15年に町内会館を建設し、事業・活動としては、平成8年「鋼鉄製ゴミボックス」を完備。平成16年防災機材庫の設置、小学児童生徒の通学路に交通安全全旗40枚を毎年設置交換。また、平成16年から「敬老会」を開催。全長500メートルの花壇に「花いっぱい運動」。

「3世代とのふれあい餅つき大会、富丘連合町内会の事業等への参加支援子ども花火大会、盆踊り子ども神興、一人暮らし高齢者の除雪支援活動等を実施しています。熟年会(老人クラブ)の活動は、公園の除草、日帰り入浴、パークゴルフ大会・研修旅行、女性だけのイチゴ会(料理と懇親会)、紫陽花の会(カラオケ)、新年交礼会等を実施しています。いま少子高齢化の進展している中で、20周年の節目の年を契機にこれからの町内会の充実発展を目指して、なお一層の努力をする所存でございます。



▲もち花をつくる子ども達



▲町内会館落成祝賀会

記念事業をおこなった町内会を ご紹介します

町内会館新築落成にあたり

私たちの町内会は昭和41年10月に「根志越一区町内会」として発足しております。

私たちが町内会は非常に多くの事業が行なわれており活発な町内会であります。今後、新しい町内会館を中心に「向こう三軒両隣」を合言葉に活動を行なっていきます。

つまり今年で町内会発足40周年という節目の年であり、また、昭和52年10月に旧町内会館を落成し町内会の名称においても「住吉北町内会」に変更しております。「住吉北町内会」と改名してから30年という、これも節目の年にあたります。

今、町内会も重要な組織として位置づけられてきております。防災、防犯、青少年育成、子育て支援、高齢者支援など地域福祉を町内活動としてどの様に行なっていくかは今後の課題であります。また、新しい町内会館をどの様に有効に活用していくかが今後の町内会活動のポイントになると考えっております。

このように町内会として節目の年に町内会活動の拠点として新しい町内会館が落成したことは、言葉に尽くせない思いがあります。この町内会館新築にあたり、役員、会員総意の元での町内会費の値上げによる積み立てが、平成6年に開始本年度このように実を結んだ



▲町内会館落成祝賀会



▲町内会館落成

住吉北町内会

町内会館落成

会長 沼田 常好
式典 平成19年10月28日